

経営比較分析表（令和6年度決算）

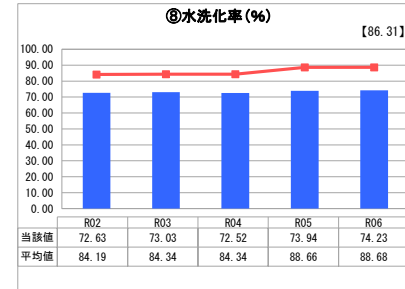
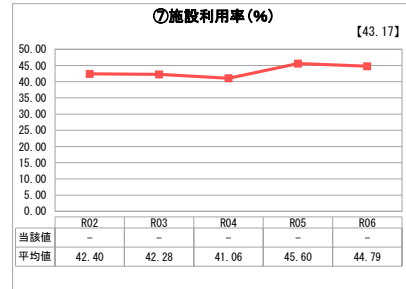
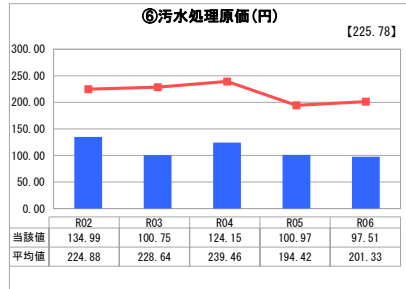
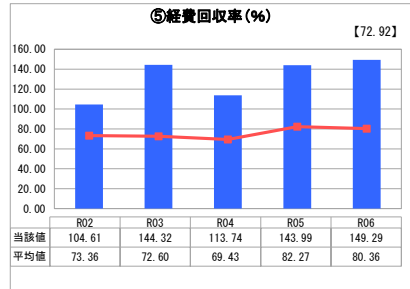
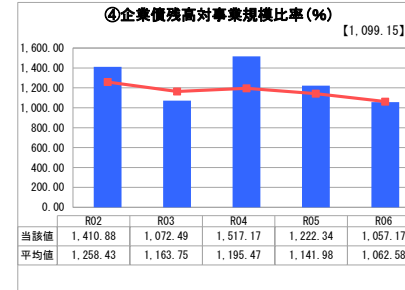
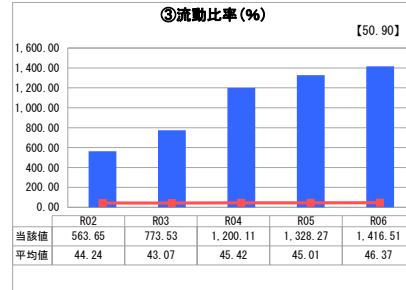
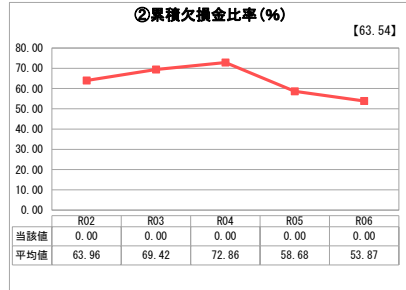
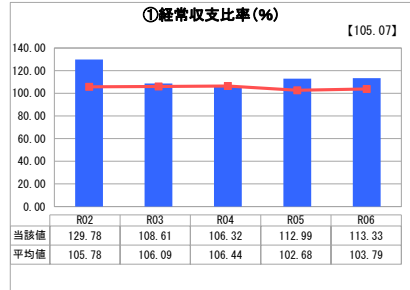
千葉県 印西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	87.07	1.20	84.12	2,178

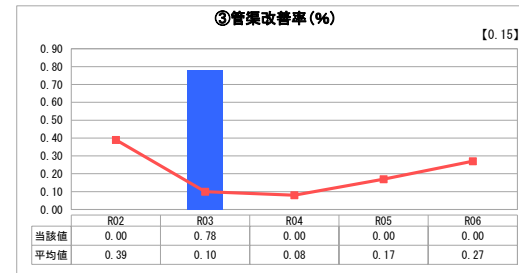
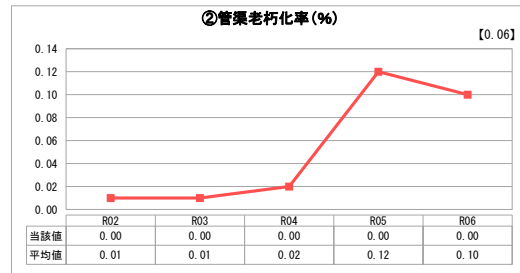
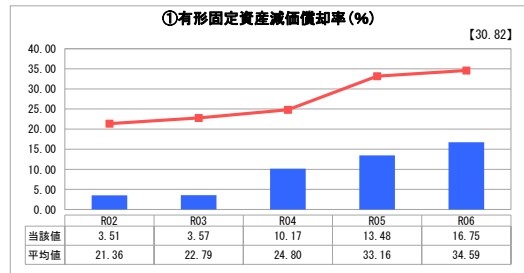
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
111,731	123.79	902.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,339	1.09	1,228.44

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%を超えていることから単年度収支は黒字となっている。
- ②累積欠損金比率は、累積欠損金が発生していないため、当該指標の実績値はない。
- ③企業債の年次償還により、流動負債の減少が進んでいくことから、毎年、流動比率は100%を超える数値となっている。このことから、短期的な債務に対する十分な支払い能力を有している状況である。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値よりも低いことから、接続率の向上に努め、使用料収入の増加を図っていく必要がある。
- ⑤経費回収率は100%を超えていることから、汚水処理費を使用料で賄っている状況である。今後の更新事業のためにも使用料収入の増加を図っていく。
- ⑥汚水処理原価は、類似団体平均値に比べ低いものの、今後の経営のためにもコストの維持に努めていく。
- ⑦施設利用率は、単独での下水道処理場を有していないため、当該指標の実績値はない。
- ⑧当該事業区域においては、現在も浄化槽を利用している世帯が多く、水洗化率は類似団体と比較しても低い状況にある。今後、浄化槽の老朽化や更新需要の高まりに伴い、下水道への切替世帯が増加することが予想されるが、引き続き下水道接続の普及促進に取り組み、接続率の向上を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を下回っている。
- ②管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠を有していないため、当該指標の実績値はない。
- ③管渠改善率は、ストックマネジメント計画に基づき、管渠の状況確認等を行い、単に年数だけではなく、管渠の状況を把握したうえで適切な時期に実施して行く。

全体総括

印西市の特定環境保全公共下水道は、公衆衛生の向上及び手賀沼・印旛沼の水質改善を目的に進められており、地理的な要因等から維持管理コストも多額となっている。接続率の向上により使用料収入の確保を図ることで、料金収入の増加、健全な経営と公衆衛生及び水質改善の目的達成とのバランスを図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。